

令和2年度第2回岐阜県環境審議会廃棄物・リサイクル部会 議事録

1 日 時

令和2年10月12日（月） 14:00～15:40

2 場 所

岐阜県水産会館 中会議室

3 出席者

守富部会長、朝田委員、池田委員、澤委員、田中委員、奥村委員、新川委員
新藤委員（代理：環境・リサイクル課長）、林委員（代理：環境調整官）、秀田委員

4 欠席者

田内委員、矢野委員

5 事務局

西垣環境生活部長、青竹環境生活部次長、
井戸廃棄物対策課長、市橋資源循環推進監、中垣内不法投棄監視監、伊藤一般廃棄物係長、
神谷産業廃棄物係長心得、垣本監視指導係長、高橋資源循環推進係長、西本、田中

6 会議の概要

発言者	内容
守富部会長	出席予定委員が参集されたため、定刻に先立って開会し、次の順により、あいさつが行われた。 ○環境生活部長あいさつ（略） ○部会長あいさつ（略）
事務局（市橋資源循環推進監）	○会議の成立について では、はじめに本会議の成立について事務局から報告をお願いします。
守富部会長	本審議会廃棄物・リサイクル部会が有効に成立するためには、岐阜県環境審議会条例第5条第2項の規定により、委員の半数以上の出席が必要とされています。 委員12名で、現時点で10名の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。 ○議事録署名委員の指名 ただいま、事務局から報告がありましたとおり、本日の部会は有効に成立しておりますので、会議を進めさせていただきます。 次に、会議の議事録署名者を指名させていただきます。 本会議の議事録署名者として、田中委員と新川委員を指名させていただきますので、よろしくお願いたします。

1 第3次岐阜県廃棄物処理計画の目標・指標の整理について

守富部会長

本日は大きく2つの項目に分けて審議を行います。
最初に「目標・指標の整理」について、その後「今後の施策」について審議を行いたいと思います。
では議題1、第3次岐阜県廃棄物処理計画の目標・指標の整理について事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局（井戸廃棄物
対策課長）

<事務局説明 略>

守富部会長

御質疑発言をよろしくお願いいたします。

秀田委員

県民の皆さんにお示しして最もわかりやすいと思われる目標数値の一つとして、「一人一日当たりの家庭ごみ排出量」があると思いますが、国が掲げる目標値440グラムに対して、今回県で設定した629グラムという数値は、随分大きい印象を受けます。国の数値は参考値なので、県ではより現実的な数値を示すということで全く差支えないのですが、県民の皆さんの「やる気」を削ぐようなことにならないように、国の数値との差の理由をわかりやすく説明したほうが良いと思います。

事務局（井戸廃棄物
対策課長）

国の440グラムという数値目標でございますが、現状626グラムに對しまして、この5年間での削減量としては随分大きすぎるのではないかと考えております。
今回の県の目標設定においては、国全体での排出量の削減の状況から本県が占める割合を算出して、そこから算出しておりますので、その数値で見えていくというふうに考えております。
あともう1点、家庭系ごみと事業系ごみの排出量の割合でございますけれども、本県の場合は、平成30年度の一般廃棄物における家庭系と事業系のごみ排出量の平均割合が5対2であるという中で、この国が示しておられる家庭系ごみと事業系ごみの想定は、人口の動向のみならず経済の予測値ですとか様々なファクターを考慮して、設定されているということでございまして、なかなか単純に、都道府県レベルの目標設定において、国の算出方法をそのまま当てはめるということではできないということが分かりまして、そういった中で、どのように目標設定をしていくかというところで、今ある情報の中で計算をした結果が629グラムであるという状況でございます。

秀田委員

現実的に達成可能な数値を目標として示そうという考え自体は、良いと思います。ただ、この629グラムという目標数値は、平成30年度の

事務局（井戸廃棄物対策課長）	<p>実績値である626グラムよりも、むしろ増えてしまっています。県民の皆さんにわかりやすく説明して、皆さんの「やる気」を引き出すような、皆さんが具体的にどの辺をどの程度頑張ればよいのかがわかるようなものにしていった方が、計画の実効性がより高まると思います。</p> <p>まず岐阜県の、629グラムの出し方でございますけれども、先ほどご説明しましたとおり、平成30年度に岐阜県の廃棄物の占めている量が1.6%でございますので、国の令和7年度の全国での目標数値に、1.6%を掛けたというものが、令和7年度の本県の排出量の目標数値とする考え方でございます。</p> <p>それに対しまして、1人1日当たりというふうに出していく場合には、令和7年度の推計人口がございまして、排出量の目標数値を推計人口で割った数値が、1人1日当たりの排出量となります。国の目標設定においては、経済の影響の見込み、経済動向予測で廃棄物の量が変わるといふことですか、それから人口の情勢、全部で確か私の記憶ですと6つぐらいの想定される様々なファクターを加味して出された数値目標という事でございます。単純に都道府県で同じデータを持っているかという、それは難しいということで、国からも国と同じ方法で都道府県レベルの目標設定をするということは困難であろうという指摘を受けております。</p> <p>国の目標設定の仕方をそのまま都道府県に当てはめることができない中で、現在把握できている数字で、可能な考え方で、推計をいたしました。</p>
澤委員	<p>この1.6%から、岐阜県の特徴とか、地理的なこととか、人口的なこととか、そういう視点で何か分かることはあるのですか。</p>
事務局（井戸廃棄物対策課長）	<p>その1.6%に関しては少なくとも平成30年度にはそういう状態であったということで、今回の試算におきましては、1人1日当たりの排出量は変わらないという想定で出したものでございます。</p> <p>人口については岐阜県の推計値があるという中で、1人1日当たりの排出量がこれからもっと減らせるかもしれませんし、先ほど部会長からご指摘のあったとおり、新型コロナウイルスの影響で、人のライフスタイルなども変わって、また排出量が増加に転じるかもしれませんが、この辺りのところは現時点では、具体的に想定できていないというのが実情でございます。</p>
守富部会長	<p>今の説明もあるんですけども、いわゆる予測値もあるんですけど、これまでの実績値として、ファクターといいますかケースのようなものを取り入れて国の方は出されているわけですけど、岐阜県の場合、これからの数値を予測する上で、過去、ファクターがあるかもしれませんが、そうしたものは過去に関しては、その解析した結果は、きちんと精査されていて令和7年度の数値が推計されているとみてよろしい</p>

<p>事務局（井戸廃棄物 対策課長）</p>	<p>でしょうか。</p> <p>県での推計において、国の試算で利用されたファクター全てについて過去のトレンドを見ているかという、経済の状況に関するデータ等については見ておりません。</p> <p>人口については、動向が出ておりまして、推計人口については、岐阜県単位での算出ができております。</p> <p>国の目標設定においては、1人1日当たりの排出量の良い方から悪い方を4分割にしまして、それが今後全て、今、一番高いレベルになるというモデルケースと、それから、上の2つのカテゴリーぐらいなら最高レベルまでに上がり他はあまり変わらないというモデルケースと4つの区分のうちですね、一番排出量の多いところだけが、少し良くなるというようなモデルケースを作って試算をさせていただきました。</p> <p>そういったことについては、今回の試算では反映してございません。</p>
<p>守富部会長</p>	<p>私の質問は、今回、例えば国がなされた数値は、何らかの計算式があるんですよね。それに加味して岐阜県のファクターを少し入れて、こういう目標にしたことだと思うんですが。</p> <p>同じその計算方式を過去に当てはめた場合に、その計算式は、過去の実績に関しては、そのファクターが適切ではなかったのではないかっていう、それが適切であればそこに加味しているファクターですね、多分過去に関しては総排出量、人口とか、程度が明らかな数値と1人当たりの量になってるんじゃないかなと。</p> <p>それは単なる計算式ですけども、予測式を使った場合と、それと合致しているのかってところの検証が行っているのですかという。</p> <p>是非そこを確認されれば先ほどの澤委員の、それに岐阜県がこういうのに関しましたら将来に関しては、予測式かもしれないですけど、過去の実績値についてそれが当てはまっていれば、それには使える式かなってことだと思うんですけど。</p> <p>その検証というのか、何か先ほど言った岐阜県がこの数字である根拠みたいなのが、いろんな側面から検証した場合、県民性だったりとか地理的特性だったりとかそういうのが出てきて、岐阜県はここはちょっと無駄に出てるとか、そういうことが分かると非常に有効じゃないかなというふうに思います。</p> <p>それと事業系ごみで先ほど290店舗で23%の回収率ということだったんですが、ちょっと少ないかな。50%ぐらいやっていたら分かると思うんですが。</p> <p>これの回答をいただけないっていうのは、どういう事情なんですか。23%でも統計の抽出としてだとできないことはないと思うんですけども。</p>
<p>事務局（井戸廃棄物 対策課長）</p>	<p>岐阜県内に複数店舗、それなりの規模の店舗が入っている事業者様にお問い合わせをさせていただきましたが、なかなか業務多忙でそこ</p>

<p>守富部会長</p>	<p>まで対応できないというご回答をいただいた事業者がございました。</p> <p>とれる手だてをとられた方がいいんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>一般廃棄物の方と事業系廃棄物と両方あるわけですが、家庭系ごみが一般廃棄物全体の7分の5と。</p> <p>5対2の割合ということで、家庭系ごみの方が量的には多いし、その時の目標設定としては、そのトレンドをどういうふうに取り扱うかというの面白い点かと思います。</p> <p>そのファクターを検証されているかとは思いますが。</p> <p>他よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局（西垣環境生活部長）</p>	<p>先ほどの1人当たり家庭系ごみの排出量の1人当たりが、令和7年の国の目標数値が440グラムとなっておりますが、これは平成30年度の実績では638グラムでございます。今我々岐阜県の家庭系ごみが626グラムなので、全国平均と岐阜県とは同程度あります。</p> <p>現在はそんなに国と岐阜県が乖離しているわけではないのですが、将来予測でちょっとこれだけの食い違いが出ているということは、今のご意見を踏まえると家庭系ごみと事業系ごみの目標数値を再度精査すべきことだと思っております。</p> <p>それから、先ほどのスーパーでの回収率が低いという座長さんからのご指摘もありましたが、回収率を増やしても、あまり全体に影響してこないのかなというふうに考えて、我々は回答があった範囲で提供させていただきました。</p>
<p>守富部会長</p>	<p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>では議題2、第3次岐阜県廃棄物処理計画の今後の施策について事務局の方から説明をお願いいたします。</p>
<p>2 第3次岐阜県廃棄物処理計画の今後の施策について</p>	
<p>事務局（井戸廃棄物対策課長）</p>	<p><事務局説明 略></p>
<p>守富部会長</p>	<p>先ほどの議事1での目標に対して、こうした施策を行っていくということ。分かりやすくといいますか、よく整理されているのかなというふうに思います。</p>
<p>池田委員</p>	<p>【資料2-2】「新たな取組（案）と施策イメージ」のところの「ぎふプラごみ削減モデルショップ」は今、県で先ほど439店舗とのこと。</p> <p>県にとっては439店舗は飲食店全体の何%ぐらいになるのでしょうか</p>

<p>事務局（井戸廃棄物対策課長）</p>	<p>か。</p> <p>店舗数につきましては、令和2年10月1日現在で939店舗となります。939店舗のうち、多くはコンビニエンスストアでございます。コンビニエンスストアはそれぞれ、各社で取り組み内容は異なりますが、例えば、バイオマスプラスチックを取り入れられたという取組がございます。製造事業者がまだ少ないのと、飲食店についてもまだこれからというような状況であるというふうに考えております。</p> <p>岐阜県内の店舗数のうち何%というようなことは申し上げにくいのですが、県民の皆様目の触れる機会は大変少ないというふうに感じておりますので、うまく皆さんにそういったプラスチック削減ということを意識していただけるような取り組みを進めていきたいと考えております。モデルショップの事業がその一つになっていくように、ご協力を得ていきたいというふうに考えております。</p>
<p>池田委員</p>	<p>今回、岐阜市のニュースになりますが、スマホ決済サービスでの岐阜市応援というのをやっています。</p> <p>年配の方は使えないですから、一生懸命教えてあげないといけないんですけどそういうことが分かりやすい。</p> <p>消費者が選べる何か施策があるといいと思います。</p> <p>シールがお店に貼ってあるとか、結構若いお母さんでも将来のためにやっぱり環境大事だねということで、お店選んでいる方が多いですね。食べ物でも何でも。</p> <p>だから消費者が賢ければ、そういうこと意識している。</p> <p>あとは消費者にどう伝えるか。</p> <p>広報とかだけではなく、目につきやすい県庁のホームページでも何でもですけど、すごく分かりづらい。</p> <p>そういうのではなく、目に付き易い、県なりにポイントもらえますとか還付金がありますとか、そういうことすると効果的だと思います。</p> <p>価格が高いことはお店に負担がかかることがあるかもしれないんですけど。</p> <p>今本当にスマホ決済サービスで岐阜市内のお店は混み混みです。</p> <p>こんな広まり方っていうか、消費者が選べる、目に見えて分かり易い施策。</p> <p>そうしないともう身近に迫っている環境問題が、どんどん進んでしまうのでは。いいアイデアを考えていきたいと思います。</p>
<p>事務局（井戸廃棄物対策課長）</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
<p>守富部会長</p>	<p>今後の施策につきましてはやはり普及促進が非常に重要かと思っておりますので、その普及促進する上での、今、ご意見がありましたように、具体的な話でやっているモデル事業もありますが、県としてやっ</p>

	<p>ていくのか、各市町村としてやっていくのかということで、個性とかやり方それぞれ考えていくかなというふうに思うんですけども。</p> <p>今日の報告にもありましたように、そういうガイドブックを作りましたとか、こういうことをやって上手くいきましたとか、そうした良い事例みたいなものはなるべく取り上げて、紹介して、他の市町村でも使えるようにしていくことが重要かなというふうには思っております。</p> <p>もちろん委員の皆様からも、アイデア募集中といますか、いいアイデア出していただければいいのかなというふうに思っております。</p> <p>そういったところがこの資料（【資料2-1】「主な課題と今後の施策について」以下「A3資料」）に書かれています。</p> <p>番号を打ってあるだけのことを全部やっていく上で、岐阜県として、直接県民に訴えることもあるでしょうし、各市町村の方からとして、というのものもあるだろうし、そしていい事例であるとか成功例っていいですか、逆に言うと、やったけどうまくいかなかったみたいなことも今後共有していく必要があるのかなと。</p> <p>他ご意見ございますか。</p>
奥村委員	<p>個人で取り組むことと、市町村の行政から取り組むことと、企業・会社様が率先していく取り組むことと、各施策の働きかけ先は違ってくると思うんです。</p> <p>術（すべ）を考えると、そもそも小さな取り組みの個人の努力がこの地球環境を変えていく。</p> <p>これを環境目標の第一歩とすると、SDGsの考え方言えば、今の地球が抱えている1から10までの展開の中のターゲットを個人に向けて、あと、地域に向けて、行政に向けて、あと企業社会商店に向けて、っていうところを明確にすると、より自分のこととして整理整頓するだけで、すごくなんていうか、小さな自分だけでやれることをやらないと、すごく意識が高まるような気がします。</p>
事務局（井戸廃棄物対策課長）	<p>計画本文に記述する際には、例えば、県民の役割として、こういったことの取り組みを、今、委員からご指摘があったように、排出される事業者のお立場もありますでしょうし廃棄物処理を担っていただいている事業者の方もおられますし、当然、市町村へは仕組みづくりということも含めて、もう一度整理をし直して、見ていただける形にしたいというふうに考えております。</p>
新川委員	<p>私が住んでいるところは本当に高齢化になっているので、多分もうスマホ決済サービスだとか全く無くて、スマホを持っていない方もあって、情報がこない。</p> <p>やっぱり地域の回覧板って結構大きいものを占めていて、そこに書いてあると、皆さんやっぱりやらなきゃっていうことも結構ある。</p> <p>それでゴミの分別をすとか。</p>

<p>事務局（井戸廃棄物対策課長）</p>	<p>インターネットで市のホームページを見ると、本当に細かいことが書いてあるんです。</p> <p>そこまでは全部できないと思うんですが、例えばできなくても、これだけの範囲をやってくださいっていうのを、もうちょっとこうということをもっと明確化をやってもらって、市町村でプラスチックごみをとにかく減らせる方向やリサイクルへ持っていける方法を構築できるものを施策に入れていただければ。</p> <p>ご指摘のあったような啓発につきましては、だれが行うと一番いいのかということについて、市町村の方とよく確認をしながら、啓発に努めて参りたいというふうに考えております。</p> <p>ご意見、ありがとうございます。</p>
<p>秀田委員</p>	<p>いろいろご意見が出ているように、県民の皆さんに課題を「自分事」として捉えてもらうことは、非常に大事なことです。</p> <p>ごみ減量化に成功した市町村の事例が示されていましたが、具体的に何をどこまでやったからうまくいったのかをよく取材して、その情報を自治体間で共有するようにしたらいいと思います。例えば、瑞穂市が市民向けの手引きを作って配布したとありますが、その手引きはどのような内容だったのか。</p> <p>例えば、ペットボトルを資源ごみに出すとき、なぜキャップとラベルを除去しなければならないのか、それを理解していない人は結構いると思います。なぜそうしなければならないのかを県民の皆さんにわかりやすく説明して理解してもらうことによって、皆さんのモチベーションも上がり、協力も得られるようになるのだと思います。</p> <p>そのようなことを、県が中心になって、市町村と情報共有するようにしていく必要があると思います。</p>
<p>奥村委員</p>	<p>各市町村、小さな町内会で一生懸命ごみの分別のことをなさってくださるのは、ご高齢のおじいちゃんやおばあちゃんが多いのです。</p> <p>一生懸命される方が、面倒くさいと思われることでも一生懸命、皆さん、向き合ってくださいっているんですけど、誰もその方々のお力に、感謝も御礼も、なんていうか、評価をしていないっていうところは、今の、評価っていうところに目標を作る、結果それをマーケットとか、そういった数値で評価したり、そういう一連の流れの中ですればこういった活動や、私達のグループにも、そんな小さな取り組みが、何か繋がりになるんじゃないかなと思います。</p> <p>でも、やっぱり身近な環境、ごみを減らして、綺麗なまちに進めたいって思いを、お互い皆が評価し合える、そして「いいね」をし合える理想の姿が、みんなで作られるような、何かネットワークでもツールでもいいですけども、つくれないのかなと思います。</p> <p>おじいちゃんだけ、おばあちゃんだけの小さな取り組みではなく、それが、将来当たり前の、そして日本・岐阜県の活動になっていけ</p>

<p>澤委員</p>	<p>るような構築を何とか考えられるといいなと思ってます。</p> <p>しなきゃいけない取り組みじゃなくって、何か面白いからやってみる取り組みに変える。なんかその発想の転換はできないのかなと。</p> <p>今皆さんが言われていることに非常に共感できますし、やっぱり家庭ごみが基本だと思う。事業者にお勤めの皆さんも家庭を持っていますから。</p> <p>だからやっぱり、今皆さんがおっしゃられたように個人に届くようなメッセージを発信していくっていうのと、それを評価する広報誌とか、自治体から出るようなものにおいて表彰したり、インタビューしたりとか、そういうのもいいんじゃないかなっていうふうに思います。</p> <p>すごく小さい単位で意識が変わっていくんじゃないかなと思います。</p>
<p>事務局（井戸廃棄物対策課長）</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>守富部会長</p>	<p>今皆さんの言われる個々の項目といたしますか具体的な施策に対して、個人レベルあるいは事業者レベルあるいは自治体レベルで行うことを、どう具体的に評価或いは楽しく面白く評価できるようにするかっていうところが一つポイントであると同時に、このA3資料の裏の最後に、各主体の連携強化っていうのがありまして、②の方ではSNSを使ったような結果が先ほどご意見があったように、それから③の方では、自治体さんレベルのものでの取り組みをなるべく共有化して、そういうのを評価する。</p> <p>その中には、澤委員の言われた表彰であるとか、分析っていうのか、こういうことやってよかったのは何でだろうねみたいところも表（おもて）に出して、それから④の具体的に視覚化をとって見たんだけど、第3次計画がそれぞれの項目と比較して、こういうことやってよかったよね。それぞれの具体策の、あるいは施策の中の比較するうえでの何らかの格好で数値化、その結果としてごみの量も減りましたよね。リサイクル率も上がりましたよね。再生利用率も上がりましたよねといったような。</p> <p>そういうものに結び付けていくものが必要かと思われまますので、やはりそれでどういう項目を各自治体さんに出していただくか、あるいは個人に、どういう数値的なものがある意味、ちょっと大げさかもしれませんがデータベース化というか、具体的に年度毎のものが見えるようにしていくことによって5年後10年後に何をすればいいのかが見えてくるような仕組みっていうのもやはり重要なこと。</p> <p>一応言葉としては書かれているのですが、具体的な中身はまだ、この1枚紙ということです。</p> <p>次の議題に移らないといけないんですが、とりあえず議題2について、他にご意見ございますか。よろしいですか。事務局より一言あり</p>

事務局（井戸廃棄物 対策課長）	<p>ますか。</p> <p>本日お示ししたものは、施策の柱とその各項目でございまして、計画本文全体ではございませんので、本日いただいたご意見も踏まえて、計画本文の準備を進めてまいりたいと考えております。</p>
守富部会長	<p>委員のご意見、あるいは議題2でのご意見いかがですか。</p> <p>本来であれば、委員会、あと1回ぐらいの予定だったのですが、もう少し議論を深めた方がいいだろうということで、ちょっと当初予定からは、1回増えてしまうんですけども、来月辺りにある程度、最終の案を示したいということです。</p> <p>提案ですけども1回加えてよろしいでしょうか。</p> <p>～異議無し～</p> <p>それでは、第3回を11月17日火曜日開催として、事務局よりご案内をさせていただきます。</p> <p>ぜひ開催して、もう1回議論させていただければというふうに思っています。</p> <p>全体含めて、言い足りなかったこととか、ご意見いただければ。それでは終了ということにさせていただきます。</p>
事務局（市橋資源循環 推進監）	<p>守富部会長どうも、ありがとうございました。委員の皆様にはご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第2回岐阜県環境審議会廃棄物・リサイクル部会を閉会とさせていただきます。</p>